

字しの部

蒲枝拂えのす紙;

先頃はユリさんの所託しに処をあのよくな美事なタイプと思つても居らぬ事でありました
而して寧に立派な表紙画もおつけ下されましてほんとうにありがたうございまして御礼申上ます
これは別の話になりますがお貞女様から昔支那から一団の人々が日本に歸り住むは日本は
無人の自由でありましたといふ事が支那の歴史に記録されて居るといわれた人があつたとの
御話ごありましたがそれは何時頃の何時頃の事でありましたのでございましょうかと色々と考えました
支那は西承知の通り五十年の歴史を持つて居る国でありますので
昔父上から聞いた事かありましたが何人といふのでありますか名前も憶えて居りた
泰といふ国の始皇帝の時頭をよく働かんでさんさん皇帝をだまし自分のすきなように
して居つたが何時かそれを察覺する事を恐れ其の前にと皇帝に其建策の國に不老
不死の薬りをとりに行て来るからと大船を造つてもらいそれに一旅で乗りこんで紀州に上陸
定住したのだとて紀州には其の一族の系統のんが深山あられるのだとていふほんやりした
記憶があり其のんだけであつたかとのメキシコの兄上におたずねの手紙をよこして運きました
処置有新聞のやりぬきを送つて下さりました御目にかけます

昔今日本の大和朝の皇室より別に出雲の國を中心にして廣し部分を支配して居つた者は
今の出雲大社の大黒様の系統であつて神武天皇の東征の時両方の銚ヤシ矢の根石まくらで
見た時両方の作りが同じであつたので昔は同族であるといふ事大黒様が妥協をこれ
主權を神武天皇にゆずられたが弟のえびす様は大逆對で戦いに敗れ信州の諏訪の
山中に逃げて来たれ諏訪湖で魚つりばかりして居られたのが諏訪大明神として祭られ
て居るエビす様だと父上からききました前に東京市長となられた牛家孝福様といふ
両方であつたと思ひます此の牛家が牛家大社の大黒様を雲族の本家の直系とあり
運綿として田力系が続いて居るとうであります南支那地方に大黒様によくたて居る
部族もあるといふ昔だれかがいふて居つたようにおぼえて居ります

名前を憶えてしまいましたが昔ジャポネオスマトラヒリッピン等をたずね調木且され
學者が書かれた本の仲に今でも記憶にありますのは日本の皇室で昔から教合せむ合と
いふものがありましてさうですが南洋諸島の仲にもこれと同じ事が行なはれて居るとは
若し男が女が一堂に合一員合せといふ田力が片方の男に上の句を書きつり女が今一方の男に
下の句を書きよめよ合て来た者が二人で結婚をするのだとてさうですが
仲々粹なことではありませんか？

又日本の皇室には昔からケマリの合と云ふ遊びがありましたが、その遊びも今でもヒリッピンからあのへんで遊ばれて居るマリはけを細くしてあまれたものだと云う。

昔和若の小學校の歴史の時に説明としてあるましたが、宮中でケマリの合があつた時、当時の藤原家の御先祖であつた藤原鎌足といふ人がケマリの合の時、其の時の皇太子と昵懇になり懐心相通じ其の当所宮中で天皇をなつかしくしたする程の権力をなつて居つた。

ユダヤ人といふ奸臣を皇太子と若にはかり処分して皇太子の安泰の其礎を成りもどした。數により皇太子の重臣として長く繞つて居る家系であること事とした。

今ツツ合でも南海の諸島に残つて居るそうですが、皇室の人達が竹で作つたかごのよきな舟にけもの草を張り、それに油をこませて水の通らぬようにした舟を何十何百といふ程を

これも油でしましたなめで、しほり合せ黒潮の流れにまかせて日向の国にたどり着くしほりの間、^舟生活をして次の行動を起すべく調べて居つたのではなからうかと思ひ、わけて居るそうです。

明治の時代であつたと思ひますが、日向の高千穂といわれた山の洞窟から黒曜石で作られたマが玉を深山ヤギに出されたと聞いた事がありました。神武天皇の時代の頃の絵に書かれてある首がごりと同じ物であると思ひます。

伊勢力の大神宮の建築の棟式は床を高くしてカヤでふいた屋根の棟の上を横にまくら木を並べて棟に人入りつけた南洋方面の様式にふたて居るといふ事があります。

名前をたれてこまじまじたか前に桑港の日本人の教会の牧師であられた、^マ語のくわしんちの書かれました本に日本語の仲には深山のヘブライ語がまじつて居るとの事でした。和若の信州の山の沖の清流に舟ツラウトを山石魚と書いて、それをイワナといつて居りますが、ヘブライ語では魚の事をナといふそうです。又東北地方での御祭りの時など昔からの言傳わりの

わけのわからぬ歌をうたひ下らうおどりをおどるが、其の歌はヘブライ語でありユダヤ人が御親の時に歌ひたらむとる。歌であると言ひて居られます。日本人はユダヤ系かむと?

皇室でさくから言ひ傳えられて居る言葉に天神五代地神七代とある由

天神とはユダヤ地方をを祭つてアラビヤ海から東のうえ渡り点といつて居る行た時代であり、それから南諸島にしばらくとどまり黒潮の流れにまかせて白鳥の国に上陸

準備をなまて神武天皇の東征七代地神七代といつたのではなからうかと云ふから言ひました。二五二年前ではなかつたかと思ひますが、関東地方の古墳から鉄製の真刀がまたとらえて

これは支那で古代に作られた真刀でありましたと云うです。

其の頃は日本海に面した何処からでも舟を来て自由に住むついで物であるといふと説明されて居りました
丁度今でもメキシコからアメリカに飛ぶにもぶらこんて来れよと同じように朝鮮からむ支那からむ
同じようにも来た事と思われませんか。免む南も日本人は其の名の通り大和の民族で
ヨメスの国々より軍よりよく知合して出来上つた国である事と思われませんか。

新平民といふ事についてであります。昔日本及び日本人といふ問題(これは知りませんが)であつた
か否思ひますが其外に人の説明としてあつた事を記憶して居ります。昔朝鮮には国が
三ツに分かれて居つた時代があり此の三ツの国がいに勢力を張り合つて居つた其の三ツの国
高麗の国が帝王が戦に敗れて日本の皇室をたよつて来た時(白)入れ其の族に關東平野の
開墾をしてもらひ定住させた時此の一族が建てた高麗神社といふ所が宮があるといつて
あります。明治時代には東京中の神は残つて居つたところですが今はどの様になつて居りますやうか。
其の当時の高麗人は高い文化と識見をもつて居り源氏を下に見る程であつたといふ事であ
つた。またか女もに日本人の仲にとけこんでしまつたが其の系統にはヨメス井上の姓を名のつて居ると
ありこの人達は先住者とわけ入だてといふものがなかつたといふ事があります。

問題は其の後ほとんど自己移民となつて来た朝鮮人の人達があまりにも京都の廻りに住みつき
段々と勢力を得て来たので徳川幕府の何時頃であつたかやうか、日本中にこれらの人々をばら
まゝよりに送り出したのだといふわけがなかつたといふ事があります。
排他的の人も居りそれらの事か合ひされて丁度昔米国人が黒人を別あつかりしたやうに
されてしまつた。それは当時日本は佛教が盛んをありまきものを殺す事四ツ足ものを食ぶる事
等をせよとられて居りました。か朝鮮の人達は自らの国柄と平気で取や中や馬を殺して来たので
キリヤイ人。エツタ。といはれて別あつかにされてしまつたのだといふ事があります。

明治の世になりまゝから初めて同等の取りあつたを返すやうに改まり新なる平民といふ
事になつたのだといふ事があります。在米の日本人が排日の盛んは当時市民となる事も出来なかつた
と同一事と思ひます。私共の村えも一組の一族が送られて参りましたので村では村はつれの
首領にお地をセウ家を建てやりとて村の整つた宮がわつたをさせたと同じ村についてお小
無頼漢を食等を取つてまらせたといふ事がありました。此れ等の人々は別の村々に居る同国人
より外の者といふ懸念をこたつたといふ事があります。

又歐文を書きつづりまじつた竹火つて下まつ
追伸 日本皇室の大やにして居りました。皇室刀は古代カリスの真刀と同じ作りでありますといふ事
をいふればやはりオサヤの国邊からか日本民族の一部の者の登陸の地となるかといふ事。

日ヨメ